



平成30年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月13日
上場取引所 東

上場会社名 佐島電機株式会社
コード番号 7420 URL http://www.satori.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐島 浩之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員(コーポレート推進担当) (氏名) 藤原 照弘 (TEL) 03-3452-7187
四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日~平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	25,933	3.6	53	—	61	—	44	—
29年5月期第1四半期	25,027	△14.3	△66	—	△270	—	△273	—

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 193百万円(—%) 29年5月期第1四半期 △917百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	2.63	—
29年5月期第1四半期	△16.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	59,343	30,900	52.1
29年5月期	59,008	31,278	53.0

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 30,900百万円 29年5月期 31,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	16.00	—	18.00	34.00
30年5月期	—	—	—	—	—
30年5月期(予想)	—	16.00	—	18.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年5月期期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日~平成30年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,000	4.5	240	8.6	240	—	120	—	7.18
通期	116,000	7.4	800	13.2	780	61.3	600	168.6	36.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期1Q	17,946,826株	29年5月期	17,946,826株
② 期末自己株式数	30年5月期1Q	1,278,699株	29年5月期	991,459株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期1Q	16,858,337株	29年5月期1Q	16,955,559株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
(1) 製品及びサービスごとの情報	10
(2) 地域別売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の政策運営の懸念や地政学的リスクの高まりが意識されるなど不透明な要因はあるものの堅調に推移いたしました。また、国内経済においても、世界経済を背景とした設備投資や雇用・所得環境の改善など緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は事務機器用ユニット製品の採用機種減少やデジタルテレビ用LCDの販売減があったものの、ノートPC用電子部品の販売増やデジタルカメラ用電子部品の搭載機種立上り、車載向け外資系電子部品の販売増により259億33百万円（前年同期比3.6%増）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費が増加したものの、粗利率の改善による売上総利益の増加により、営業利益は53百万円（前年同期は66百万円の損失）、経常利益は為替差損の減少により61百万円（前年同期は2億70百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44百万円（前年同期は2億73百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント区分を変更しております。また、前年同四半期連結累計期間との比較にあたっては、前年同四半期連結累計期間の数値を変更後の報告セグメント区分に組み替えて行っております。

①デバイスソリューション事業

事務機器用ユニット製品の採用機種減少やデジタルテレビ用LCDの販売減があったものの、ノートPC用電子部品の販売増やデジタルカメラ用電子部品の搭載機種立上り、車載向け外資系電子部品の販売増により、売上高は209億67百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は1億21百万円（前年同期比196.7%増）となりました。

②システムソリューション事業

企業向けPC、サーバや半導体製造装置用電子機器の販売増により、売上高は49億65百万円（前年同期比13.7%増）となり、セグメント損失は66百万円（前年同期は1億9百万円の損失）に改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、593億43百万円（前連結会計年度末590億8百万円）となり、3億34百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少（11億62百万円）があったものの、商品及び製品の増加（11億34百万円）、投資その他の資産の増加（2億30百万円）によるものであります。

負債は、284億43百万円（前連結会計年度末277億30百万円）となり、7億12百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加（6億90百万円）によるものであります。

純資産は、309億円（前連結会計年度末312億78百万円）となり、3億78百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加（1億46百万円）があったものの、利益剰余金の減少（2億60百万円）、自己株式の増加に伴う減少（2億66百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月期決算短信（平成29年7月14日発表）に記載の予想に変更はございません。今後、適時開示が必要になった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,911	6,712
受取手形及び売掛金	31,318	30,156
商品及び製品	8,822	9,957
仕掛品	342	391
原材料及び貯蔵品	399	507
その他	1,155	1,393
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	48,948	49,118
固定資産		
有形固定資産	4,228	4,200
無形固定資産	2,036	1,997
投資その他の資産		
その他	3,841	4,072
貸倒引当金	△45	△45
投資その他の資産合計	3,795	4,026
固定資産合計	10,060	10,224
資産合計	59,008	59,343
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,582	14,858
短期借入金	3,190	3,880
1年内返済予定の長期借入金	1,400	1,400
1年内償還予定の社債	500	500
未払法人税等	188	65
役員賞与引当金	11	—
その他	1,170	995
流動負債合計	21,043	21,699
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	3,200	3,200
退職給付に係る負債	1,584	1,598
その他	902	945
固定負債合計	6,687	6,743
負債合計	27,730	28,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,611	2,611
資本剰余金	3,608	3,608
利益剰余金	25,401	25,140
自己株式	△1,253	△1,520
株主資本合計	30,367	29,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,159	1,306
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△173	△173
為替換算調整勘定	△74	△72
その他の包括利益累計額合計	911	1,060
純資産合計	31,278	30,900
負債純資産合計	59,008	59,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	25,027	25,933
売上原価	23,016	23,709
売上総利益	2,011	2,223
販売費及び一般管理費	2,077	2,169
営業利益又は営業損失(△)	△66	53
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	34	38
仕入割引	18	16
その他	9	14
営業外収益合計	65	71
営業外費用		
支払利息	24	21
為替差損	235	31
その他	9	10
営業外費用合計	269	63
経常利益又は経常損失(△)	△270	61
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△270	61
法人税、住民税及び事業税	25	38
法人税等調整額	△22	△21
法人税等合計	2	17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△273	44
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△273	44

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△273	44
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	146
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	△568	2
退職給付に係る調整額	△2	—
その他の包括利益合計	△644	148
四半期包括利益	△917	193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△917	193
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年7月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式287,200株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が266百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,520百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ソリューション 事業	システム ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,661	4,365	25,027	—	25,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	107	12	120	△120	—
計	20,769	4,378	25,148	△120	25,027
セグメント利益又は損失(△)	40	△109	△68	2	△66

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ソリューション 事業	システム ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,967	4,965	25,933	—	25,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	99	11	111	△111	—
計	21,067	4,977	26,044	△111	25,933
セグメント利益又は損失(△)	121	△66	54	△1	53

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より新たな経営基本体系を掲げ、今後の成長戦略を事業毎に設定いたしました。報告セグメント区分につきましても、従来の所在地別区分である「国内事業」及び「海外事業」から事業別区分である「デバイスソリューション事業」及び「システムソリューション事業」に変更しております。

基幹事業であるデバイスソリューション事業では、グローバルで成長マーケットへの取り組みをより強化することでグロスを拡大し、システムソリューション事業では、当社機能価値を最大限活用していくことで収益力の向上を図ってまいります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記セグメント変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

(事業の譲受)

当社は、平成29年9月7日開催の取締役会において、イノテック株式会社のハードディスクドライブ販売事業を譲受けることを決議し、同日付けで事業譲渡契約を締結いたしました。

企業結合の概要

(1) 相手先企業の名称及び事業の内容

相手先企業の名称 イノテック株式会社

事業の内容 ハードディスクドライブ販売事業

(2) 事業の譲受の主な理由

当社グループは、電子部品、電子機器の販売を主力とするエレクトロニクス商社であります。

成長戦略の一環として、ソリッドステートドライブをはじめとするフラッシュメモリ製品の拡販を推進してきました。

今般、イノテック株式会社のハードディスクドライブ販売事業を譲受けることで、ストレージ製品の拡充を図り、新たな顧客獲得やハードディスクドライブからソリッドステートドライブへのシフトを取り込むことにより、ストレージ販売事業を強化できるものと考えております。

(3) 企業結合日

平成29年11月1日(予定)

(4) 企業結合の法的形式

事業譲受

3. その他

(1) 製品及びサービスごとの情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)

(単位:百万円)

	半導体	一般電子部品	電子機器	製品	合計
外部顧客への売上高	6,731	11,257	6,082	956	25,027

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)

(単位:百万円)

	半導体	一般電子部品	電子機器	製品	合計
外部顧客への売上高	8,690	11,351	4,871	1,020	25,933

(2) 地域別売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)

(単位:百万円)

日本	海外					合計
	中国	台湾	その他アジア	その他	計	
14,161	6,113	795	3,162	794	10,866	25,027

(注) 1. 売上高は製品の実際の仕向け地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「中国」の区分は、香港を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)

(単位:百万円)

日本	海外					合計
	中国	台湾	その他アジア	その他	計	
13,449	7,467	1,139	2,929	948	12,484	25,933

(注) 1. 売上高は製品の実際の仕向け地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「中国」の区分は、香港を含んでおります。